

北高同窓会だより

KITA HIGH SCHOOL OB. OG. NEWS

発行 名古屋市立北高等学校
同窓会編集委員
発行日 2021年3月1日
編集責任者 会長 山本裕康(4回生)
同窓会事務局(北高校内) 担当 川口真司
TEL 052-901-0338

Vol. 33 ※この同窓会だよりは、北高等学校同窓会編集係が、名古屋市立北高等学校並びに卒業生のご協力を得て編集発行しています。

逆境を乗り越え

同窓会会長 山本裕康(4回生)

昨年は、新型コロナウイルス感染症に明け暮れた一年でした。今年も第三波による緊急事態宣言が発令されました。医療従事者の方々をはじめ、対応に追われている日々が続いていますが、北高校同窓会々員の皆様には、日々お元気でご活躍のことと思います。

このような中で、この度卒業された56回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校生活最後の年に嘗てないさまざまな経験をされたことでしょう。しかし、それも貴重な体験として将来必ず役に立つことと思います。さて、皆さんは卒業と同時に、同窓会に入会となります。皆さんの入会を心から歓迎いたします。保護者様をはじめご家族、恩師、先輩や同輩、後輩など、あなた方を育み導いて下さった方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないようにして下さい。

早いものでこの3月で東日本大震災から10年になりますが、放射能問題に限らずまだまだ復興が遅れています。また、昨年も7月にほぼ一ヶ月に渡り九州から東北に至るまで豪雨による被害が発生し、9月の巨大台風により追い打ちを掛けられました。被害に遭われた皆様方にお見舞い申し上げますとともに一日も早い復旧をお祈りいたします。

しかし、何と言ってもコロナにより、オリンピックをはじめほとんどの行事が中止・延期になるなど、社会活動に大打撃をもたらしました。夢と希望をもって卒業され、次のステップに向かった先輩達も入学式や入社式が中止になり、授業もリモートでと学校に行くこともままならない状態でした。政治面では、英国がEUから離脱をし、国

内では安倍首相から菅首相に、アメリカではトランプ氏からバイデン大統領に変わりコロナへの対応が期待されるところです。企業においては、DXが非常に速く導入され、働き方改革も進められ、この2～3年で仕事にしても生活にしても大きく変化してゆくと思われます。コロナがもたらしたチャンスと考えます。

毎年、卒業された皆さんとその夏に同窓会活動のメイン行事である「若者のつどい」を開催していますが、昨年はコロナの影響で中止せざるを得ませんでした。今年は55回生と皆さん方56回生とが合同で出来ないものかと思案しています。今はコロナのために、お借りする施設では飲食禁止・密接を避ける等々の指示があります。今後ワクチン接種の進展や感染者数の減少など時期が来れば必ず実施できると思いますので、ご協力・ご理解の程お願いします。

最後に、毎年お願いをしていることがあります。同窓会活動をより活性化させるために皆様方からいろいろなアイデアや提案をいただければと思います。個人情報保護の兼ね合いで情報発信が難しい状況になっていますが、今後とも、ご理解・ご協力・積極的なご参加をお願いするとともに、同窓会会員の皆様のますますのご健勝ご活躍と母校北高校の発展、隆昌を祈念し、ご挨拶と致します。

令和元・2年度卒業生対象の行事〈予定〉

(令和3年同窓会若者のつどい)

令和3年8月28日(土) 14:00~16:00

場所：名古屋市公会堂 4階ホール

コロナの状況次第ですが、開催できるときは
後日ハガキにて詳細を連絡します。

当日のビンゴ抽選会では豪華景品が当たります。
(クラス幹事の方に実行委員をお願いします)

チャレンジ

校長 加藤 裕 司

今年度は昨年3月から約3ヶ月に及ぶ新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業に始まり、異例づくめの1年となりました。在校生はその時々で、勉強に学校行事に部活動にと懸命に取り組んでいました。それでも、例年であれば当たり前のように行われていた貴重な経験をする場が失われたことは、生徒一人ひとりにとっては掛け替えのない大切な時間であったはずと考えたとき、学校が出来ることは何なのかと職員一人ひとりが自問自答する日が続きました。

このような状況ではありましたが、美術部が3年連続で全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門において県の代表作品として選出されました。力強い作品からは、生徒からほとばしる作品への情熱がひしひしと感じられるものでした。

また、男子バスケットボール部においては、全国バスケットボール選手権大会愛知県大会2次トーナメントにおいて県で優勝するという快挙を達成しました。すべての部活動が活動の制限を受ける中で、選手一人ひとりが地道に努力を重ね、一戦一戦着実に勝利を積み重ねたことは、生徒や教職員にとって大きな勇気を与えてくれるものとなりました。これら美術部と男子バスケットボール部の活躍は、本校に明るい光が差し込む出来事でした。

ところで学びの場に目を向けると、僅かずつではありますが新たな取組が始まっています。昨年度7月に開設されたグローバルエデュケーションセンターにおいて実施している「グローバル・ディスカッション・ワークショップ」には、国際理解コースの生徒に加え、1年生全員が参加します。少人数で外国人講師を囲んでの英語によるグループワークやディスカッション、意見発表などは校内で経験できない貴重な学びの場となり、国際理解コースの良いところを普通コースの生徒に波及させた取組となっています。

更に、令和2年12月には、名古屋市の施策「ナゴヤ・スクール・イノベーション」事業である「高校学びの変革プロジェクト」の実践校として指定を受けました。ICT環境を整備し、学習支援ツールを最大限に活用した授業改善をすることで、生徒の応用的・発展的な学びの土台となる基礎学力の定着や学習習慣の定着を図ると共に、主体的・対話的で深い学びの実現を目指すもので、これまでの授業形態を大きく転換していく新たなチャレンジとなります。

未来を担う北高校の生徒が、生き生きと充実した人生が過ごせる礎を本校で築いていけるよう、教職員が力を合わせてこれからも様々なことにチャレンジしていきます。

特色と魅力ある北高校

教頭 伊藤 幸彦

今年度4月、北高校に赴任しました伊藤幸彦と申します。同窓生の中には私の名前を見て「あれ？」と思う方が少なからずいらっしゃるのではないかと思います。私はかつて平成6年度から平成9年度までの4年間、本校で教諭として働いていました。卒業生を出したのは最後の年に一度だけあります。私が担任したり、授業や部活動で関わったりした方たちは、今、元気にしていられるのでしょうか。

当時の北高生を振り返ってみると、ヴァイタリティのある生徒が多かったと思います。自由な校風の中、自由に振る舞う子どもたちはそれぞれ生きる力を感じさせると共にやんちゃでもありました。やんちゃな子どもたちの友達はやはりやんちゃで、当時の文化祭も現在と変わらず一般公開をしていましたが、招待状ではなく外部から自由に入ることができたため、やんちゃそうな客人が沢山来ていました。やんちゃそうな客人は校内を土足で歩き、注意も聞かず触ると「さわんな！」と凄まじいことを今でも覚えています。ただ北高生は人間味溢れた子どもたちでもあり、私が転勤するきっかけになったのは自身の結婚だったのですが、式場のホテルに担任した子どもたちが沢山お祝いに来てくれ、とても嬉しかったのをよく覚えています。その中の一人の男の子が式場のあるホテルにサンダルで入ろうとし係員に止められ、女物の靴をわざわざ買ってきて、その靴を履いて式場に来てくれたこともよく覚えています。

最初に述べたようにわずか4年間の経験でしたが、私の記憶にしっかり残る子どもたちばかりで、そういった意味でも北高校は面白い学校だなと思います。今後、私がこの学校で何年間働くことになるのかは全く分かりませんが、この学校で働く私以外の先生たちにも記憶に残る生徒を育てていきたいと思っています。同窓生の先輩方は後輩の活躍を温かく見守ると共に、期待を持ちながら応援して頂きたいと思っています。今後とも北高校をよろしくお願い致します。

高校生活で力を入れたこと

第56回卒業生 杉田 汐里

私が高校生活で力を入れたのは「勉強と部活動の両立」でした。これは中学校生活で部活動だけに力を注いでしまった私の後悔によってできた目標であり、またこの目標を実行する過程で大きく成長することができた私の成果です。

まず勉強では学力をつけるだけではなく、定期考査や受験の日程から逆算して計画を立てることで、目標に対しての計画を継続して実行する力がつきました。またクラスの友達に教えることにより、改めて私自身が「人に教えること」が好きだと気づき、目標とする職業に対する憧れが一層強くなりました。泣きながらノートを必死に覚えた夜も今ではいい思い出です。

部活動では部長として活動できた期間は短かったものの、集団全体を見て行動する力がつき、また学年・性別を問わずコミュニケーションをとることで個々に対しても気を配ることができました。つらいこともたくさんありましたが、わがままでいい加減なところもある私を常に支えてくれた仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。

今年はコロナの影響で様々な活動が制限されたことにより、部活動の発表の場もなくなってしまい悔しい思いをしましたが、休校期間から気持ちを切り替えたことで、自分の進路についてじっくり考えることができ、つらいことが起こったとしても、見方を変えることで有意義に時間を過ごすこともできると気づくきっかけになりました。

これから私たちは、今までの思い出と支えてくれる人や環境へ感謝の気持ちを忘れずにそれぞれの目標に向かって進み続けていきます。お世話になった先生方、学校生活を共に過ごした仲間、そして今までずっと見守ってくれた家族、本当にありがとうございました。



国内修学旅行

1日目の平和学習、2日目の厳島神社見学とクラス別研修、3日目の班別分散研修でたくさんの思い出ができました。

自由過ぎた高校時代

第18回生 大学職員 服部 博文

高校時代の思い出をと思い起こせば、自由そのものでした。3年間テスト前以外であまり勉強した覚えがなく、帰宅部でしたので、アルバイトをしては休日に鉄道旅行を楽しんでいました。一番思い出深いのは、金曜日の授業が終わるやいなや、名古屋駅へ駆け込み鈍行で東京へ行き、新宿発の夜行列車に乗って信州巡りをした旅のことです（当時、土曜日は授業があったのですが、多分祝日で休みだったのでしょう）。

旅の楽しい記憶は色々あるのですが、書くのと長くなるので時代を感じられるある出来事を記します。気ままに旅に出てしまいましたので、親に心配かけまいと東京駅から公衆電話で家に連絡しました。当時は携帯電話などももちろんなく、コイン式の公衆電話でした。東京～名古屋間の電話代が4.5秒で10円の頃でしたから、10枚ほど入れた10円玉が思いのほか勢いよく落ちていった音は、

高校生にしては遠くに来たのだなと感じさせる音でした。

そんな自由気ままな高校時代を過ごしていたせいか、恥を忍んで書きますが、赤点の連続で落第しかけたのも、高校時代の思い出になります。私達の時代は、先生から学習・生活態度ともに強く指導される時代ではなかったので、この頃に自己責任力や積極性、考える力が得られたのだと思います。落第しかけた私が、大学を出てから博士号を取得し研究の仕事に就いたのは、同級の友達から不思議だと言われているのですが、この自由な高校時代に、研究を行うのに必要な力が得られたからだと思っています。

新卒業生の皆様は、高校時代に何を得られたのでしょうか？楽しいこともつらいことも、これから沢山あることと思いますが、どんな時にも自己責任力や積極性、考える力は大切です。大学、社会に進むにつれて、さらに色々な力が必要になると思いますが、高校時代に得たものがあれば、それらを力の糧に頑張っていきたいと思っています。

ぜひともご参加ください。同窓会の主な活動と今後の方針

一 5年に一度の「総会・行事」の開催の見直し
北高卒業生を対象として、5年毎に開催してききましたが、約10年毎に変更します。
50周年記念総会・行事は平成24年(2012年)11月に開催しました。

二 毎年夏に「若者の集い」の開催

新入同窓会会員を中心にして、記念総会実施年を除き、毎年開催しております。
新同窓生の実行委員が中心となった気軽に参加できる集いです。今年は令和元年度・2年度卒業生を対象に8月28日(土)に開催予定で進めていますが、コロナの状況次第となります。

三 同窓会名簿の作成と住所管理

全同窓生の住所・電話番号を調査し、住所変更についても、定期的な調査をし、コンピューターで管理し正確性の維持に努めています。編集は業者(樹サルト)に依頼しています。

四 同期会活動の援助

同期会の活動を活発化してもらうために、開催に向けての相談などを北高事務局経由で同窓会理事が受けています。

五 「北高同窓会だより」の発行

年1回の定期発行。内容は会長あいさつ、活動報告、卒業生からの寄稿、現在の北高の話題などです。同期会などにもご利用ください。詳細は北高事務局までお願いします。

六 役員会議の開催

同窓会活動を進めるため年数回役員会議を実施しております。10数名の役員さんが集まり、北高校の先生、或いは相談役の恩師等を交えて、毎回2時間程度活発な企画協議をしています。

役員会への参加は、ご都合のつく範囲で結構です。多くの世代から役員会参加を期待しますので、お気軽に問い合わせください。お待ちしております。

七 同窓会役員の募集

幅広い年齢層の同窓会役員を募集しています。是非、ご協力ください。

写真で北高点描

高校3年間でいろいろな活動を通して、生徒たちは成長していきます。先輩諸氏もこれらの写真で北高を懐かしみ、同窓会活動に多くの方が加えられることを期待します。



野外合宿(稲武)

高校生活で最初の宿泊行事。キャンプファイヤーやデイキャンプなど、ふだん学校では経験することのできない活動の中で、クラスメイトと共同生活を送りながら、お互いの新たな面に気づき、より良い人間関係を築き上げていくことを学びました。

体育祭

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、毎年6月に実施されている体育祭。白熱したトラック競技、クラスで一致団結した大縄跳び、お揃いのクラスTシャツをユニホームにして、自分のクラスやブロックに声援を送ります。また一昨年から体育祭有志応援団も復活し活気を帯びてきています。



文化祭

今年度は開催が危ぶまれましたが、校内発表のみという形で何とか実現した文化祭。様々な制約がある中教室発表とステージ発表のみ行いました。この3年間ではコーヒークップやジェットコースターなどの大型アトラクション、プロ顔負けのステージ発表などが続き文化祭のレベルが年々上がってきています。